

# 個人情報を探るアポ電に注意!

今年に入り、犯人が現金の有無や資産状況を尋ねる電話をかけた後、警察官等を装って被害者の自宅に押し入り現金を奪うという強盗事件が相次いで発生しています。このように、犯人が被害者の個人情報等を確認するために事前に電話をかける手口が増加してします。このような事前の電話は、アポイントメント電話(アポ電)と呼ばれ、資産や家族構成等の個人情報が詐欺や強盗事件に利用されてしまう悪質な犯罪の手口です。

## 「アポ電」の手口例

### 警察官を名乗る者

「銀行口座が悪用されている。凍結前にお金を下ろして」

息子等を装って、個人情報や現金の保管場所を確認し、狙いを定めて強盗に入る手口です。

### 息子を名乗る者

「病気になったのでお金が必要になった。家に現金はあるか。」

### 自治体職員を名乗る者

「医療費の還付金があります。名前や住所などを教えて。」

アポ電には、他にも、親族、報道機関の世論調査、電力会社、自治体職員、警察官を装う等、様々なパターンがあります。事件の前兆でもあり、注意が必要です。



## 対策

- 安易に資産や家族構成等の個人情報を他人に教えない。
- 留守番電話等を使って相手を事前に確認する。



このような不審な電話があった際は、警察に相談または通報するようお願いいたします。

